

News Release

2025 年 2 月 13 日

各位

新田ゼラチン株式会社

東証スタンダード 証券コード: 4977

インド連結子会社におけるゼラチンの生産能力を拡大

弊社の連結子会社であるニッタゼラチンインディア Ltd.（以下、「NGIL」という）は、インド国内及び世界でのゼラチンの需要拡大に対応し、更なる事業成長を図るため、NGIL のゼラチンの生産能力を拡大することを決定しました。

■ニッタゼラチンインディア Ltd.について

名 称	ニッタゼラチンインディア Ltd.
設備投資を行う 拠点の所在地	インド（ケララ州）
出 資	弊社 43.0%、ケララ州政府 32.0% 及び一般株主
事業内容	牛ゼラチン・牛オセイン、牛・魚コラーゲンペプチド 及びリン酸カルシウムの製造・販売 (インド国内のほか、日本・北米・アジア等への輸出)

■生産能力拡大の背景

ゼラチンは、グミやゼリーをはじめとする食品用途だけでなく、健康食品や医薬品用のカプセルの原料など、幅広い用途に使用されています。世界での健康志向の高まりや医薬品市場の拡大を背景に、カプセル用ゼラチンの需要は拡大を続けています。特にインドは、世界有数のカプセル生産拠点として注目されていることから、今後も更なる成長が期待されています。

弊社は、海外 5 カ国にグループ会社を展開しており、NGIL はゼラチンやコラーゲンペプチドを製造し、グローバルに供給するための重要な拠点と位置付けています。2024 年 5 月に公表した中期経営計画の中でも、「コスト競争力の高いインド拠点の生産能力を拡大し、ゼラチンとコラーゲンペプチドの収益構造を強化する」ことを重点戦略に掲げており、今般、具体的な設備投資計画を決定したものです。

(ご参考：「2024-2026 中期経営計画」

https://www.nitta-gelatin.co.jp/ja/ir/library/presentation/main/012/teaserItems1/05/linkList/00/link/Medium-term_management_plan_2024-2026.pdf)

■設備投資計画の概要

NGIL のゼラチンの現在の生産能力は年間 4,500 トンであり、今回の設備投資によって年間 6,000 トンまで増強します。(稼働予定は 2027 年 7 月)

投資金額は 1,324 百万ルピー (約 2,449 百万円) の予定です。

■今後の展望

NGIL および弊社グループは、今回の生産能力拡張により、拡大を続ける世界のゼラチン市場での販売機会を着実に取り込むとともに、NGIL で生産されたハラル認証商品の強みを生かし、インド国内及び、北米、東南アジアの更なる市場開拓に注力します。

以 上

■本件に関するお問い合わせ■

新田ゼラチン株式会社 経営企画部：担当者 飯島 (いいじま)

お問い合わせフォーム <https://cloud.swcms.net/nitta-gelatinPublic/ja/ir/inquiry6.html>